

未だに続く南モンゴルでの「文化大革命」、そして中国共産党は全人類の敵である――

『いまわしき「内モンゴル自治区」が成立されてから63年間の日々が過ぎた。この63年間という日々は、我々南モンゴル人の歴史の中でも一番暗い1ページであると言える。私たちはこの63年間の歴史を忘れず、この日にか南モンゴルを南モンゴル人の手に取り戻すことを誓い、中国共産黨の支配から独立を目指すことを世界中に訴え、早く、今年も東京でデモ行進を行うことを決定した。

チベット弾圧で国家主席の座を手に入れた胡錦濤、ウイグルの弾圧で国家主席にのし上るとしている習近平に引き続き、昨年11月、南モンゴルでは胡春華が内モンゴル自治区の中共党委書記に就任した。胡春華は胡錦濤の子飼いにして、第六世代の国家主席と目される人

当時の学生運動に参加した学生たちに対しても敬意を表する。そして、中国共産党政府が未だに南モンゴルで迫害を続けていたことに抗議する。私たちは、1949年の年から現在に至る、中国共産党政府の民族浄化政策、侵略政策に基づく南モンゴル人の差別、压迫、弾圧、虐殺に対する抗議する。

中国共産党は南モンゴルで、「文化大革命」時には何十万もの「内モンゴル人民革命党員」の弾圧・摘発を行った。「学生運動」終結時には運動家たちを「膨大な民族分裂集団」とののしり、弾圧・摘発を行つた。

それから2008年、今日の南モンゴルにおいて、中国共産党政府は「西部大開発」という政策を打ち出し、またも南モンゴルに移民侵略、経済侵略をしている。その結果、南モンゴルの本来の住民であつたモンゴル人は、現在僅か17%（モンゴル人：420万、漢民族：1900万）しかない少数民族となつてしまつた。

物である。これは、南モンゴルに対する弾圧強化（資源略奪、モンゴル文化と自然の破壊など）を意味するものである。

内モンゴル自治区公安庁長の趙黎平は「治安当局の方針は先制かつ攻撃的アプローチを探ること」と言つて、南モンゴル人の生命、権利を保護するどころか、逆に弾圧強化の尖兵となり、南モンゴル人の生命、権利を奪つるために狂奔しているあります。

南モンゴルの現状は一向に改善される気配すらなく、ますます悪化の一途をたどる南モンゴルに対する中国共産党の政策は、未だに「文化大革命」を続けていたと言わざるをえないのです。

世界遺産である南モンゴルの大草原に引き続き、昨年11月、南モンゴルでは胡春華が内モンゴル自治区の中共党委書記に就任した。胡春華は胡錦濤の子飼いにして、第六世代の国家主席と目される人が実行支配する地域のみならず、世

私は以下のこと求めます。

●2008年前の南モンゴルのモンゴル人学生運動の真実を明らかにします。また、この運動に参加した学生たちに対し、未だ続けていた迫害を止めます。

●モンゴル民族の伝統的な放牧経済を破壊することを止め、「放牧禁止」政策をやめ、「生態移民」政策の名の下で、モンゴル人から奪つておる土地を返せ。

●「少数民族優遇」、「国境建設」、「西部大開發」等の名目で漢民族を南モンゴルへ入植させるなどして、1

949年から南モンゴルに入植してきた漢民族を元の土地に返し、モンゴル人から奪つた土地を返せ。

●南モンゴル人を根絶させために南モンゴル人に対して行つておる「計画生育」政策を今すぐ止めろ。

●「少数民族教育を発展させよ」という名目で、モンゴル語で受講できる学校を廃校、合併させるのを止めよう。

界中を破滅の道に追い込んでいるのである。そして、中国共産党は自らの過ちを認めることなく、責任を他に転嫁し、非難さえ言つてのけるのである。

（いわゆる内モンゴル自治区）で、中国共産党政府の「内モンゴルへの漢民族入植」政策に反対した、モンゴル人学生による学生運動が行われた。中国共産政府は内モンゴルに対する中国共産党の政策は、未だに「文化大革命」を続けていたことから内容を含めた共産党中央政府の「800号文書」を通達した。その文書は、「大量の漢人が入植していく」とを止めてはいけない」など、南モンゴルの自治権を奪つものであった。学生運動は、その通達に対する反対が反対したことから始まり、70日間続いた。



家畜小屋から出られない羊

中華人民共和国が建国された1949年から、南モンゴルへ大量に入植した漢人達は、最前線に立つて、1966～1976年の間に、「内モンゴル人達は、この自由な日本において、「モンゴル人学生運動」20周年記念デモ行進を行つ。中国共産党政府の南モンゴルへの移民侵略、経済侵略、文化侵略、政治侵略、および民族浄化政策の前に勇気を持つて立ち上がつた、その

●中国共産党は、自分が南モンゴルの砂漠化の元凶であることを認め、資源強奪、環境破壊を止める。●モンゴル民族の歴史を歪曲すること及び洗脳教育を止めろ。

●「南モンゴル民主連盟」、「内モンゴル人民党」、「モンゴル自由連盟」等の政治団体を弾圧することを止めろ。我々南モンゴル人達の自由権利、新聞社やラジオ局やテレビ局などを作る権利を返せ。

●南モンゴル民主運動家のハーダー氏をすぐ釈放せよ。南モンゴル人に

対する迫害、圧迫を止めろ。迫害を受け外国人に亡命した内モンゴル人民党代表のテムチレト氏をはじめ、南モンゴルの人権、自由、民主活動をしておるすべての南モンゴル人達の故郷へ自由に帰る権利を返せ。

過去60年間行つてきた、南モンゴルに対する残虐な浄化政策の継続である。今我々は、中国共産党に対する南モンゴルの資源を奪い、環境、生態を破壊している重大な罪を認めよう求める。そして我々の南モンゴルを、我々南モンゴル人に元のままの状態で返し、何より我々南モンゴル人の自由、人権、自決権を返還することを断固求める。



モンゴル自由連盟党

町に移住させられた牧民の子供

現在、我々南モンゴル人は、自分達の故郷から強制的に隔離され、また伝統経済から隔離され、モンゴル文化から隔離され、民族教育から隔離されている。これは中国共産党が